

総務厚生常任委員会

多古学童保育所視察 (6/7)

旧多古幼稚園の2階に移設して2カ月が経過した多古学童保育所を視察しました。以前遊戯室であった明るく広い保育室は、遮音効果のある床材を新たに用い1階の図書館に配慮した改修を施していること、急に体調を崩すなど静養が必要となった児童が休める保育室を設けていることなど、担当課である子育て支援課長より説明を受けました。

また、今年度から利用対象を小学校5年生まで広げたとの報告もあり、今後も利用者ニーズの把握、職員確保等の課題について研究の必要性を確認しました。



陳情の審議 (6/13)

6月定例会で付託された保育関連の陳情3件について審議を行いました。陳情の内容は公立保育所運営費の財源確保や全国的な保育士不足の解消を図るための保育士の処遇改善、家計負担を軽減するための保育料引き下げについて国に求めるものでした。委員からは、「本町は公設公営のこども園のみが設置されているが、その公設公営を維持するためにも財源の確保が必要」、「全国的にみて保育士の給与は他の労働者と比べて大幅に低い状況」、「現在は各自治体が自己努力で保育料の低減化をしているが、本来は国が財源を手当てすべき」との意見があり、審議の結果、採択すべきと決しました。



空港対策特別委員会

第1回 勉強会 (4/26)

本町にとって成田国際空港との共生・共栄は地域経済、地域振興に大きく関わるものであること、またその情報については議員間の共通認識が不可欠であることから、空港に関する諸問題の知識を深めるべく議員全員での勉強会を実施していくこととしました。

第1回目となったこの日は、成田国際空港株式会社地域共生部次長 関口順一氏を講師に「成田国際空港の環境対策等実施状況について」の説明を受けました。この勉強会を通じて成田国際空港における環境対策と地域振興策、騒音対策等について基礎的な情報の共有を図りました。



第2回 勉強会 (6/2)

第2回目の勉強会は、多古町航空機騒音等対策協議会(以下、騒対協)の取り組み、空港機能強化に対しての騒対協の考え方について騒対協会長 加瀬芳廣氏から説明を受けるとともに、騒対協役員の方々との意見交換を行いました。

今回、実際に騒音下に暮らす方々の「生の声」をお聞きする機会を得て、「測定値では表せないうささ」、「住民の「理解」という名の「我慢」、「空港が影響する交通渋滞」というものがあることを知ることができました。今後も住民に犠牲を強いることのない空港との共生・共栄について研究していくことの必要性を痛感しました。



所要時間 62分

問 太陽光パネル設置の指導要綱が必要では

答 町として最良の方法を協議していききたい

問 パネル設置の乱開発を防ぐには

問 再生可能エネルギーの普及により、エネルギーの自給率向上、地域経済の振興が期待されます。一方では、太陽光パネル(野立て)設置や管理に対する国の法律が十分なために、全国でパネル設置をめぐり乱開発などが進み、自然環境の破壊や近隣住民の生活を圧迫する事態がおこっています。本町における設置状況や今後の計画の把握、問題点等をお聞かせします。

町長 資源エネルギー庁の公表によると、町内設置状況(住宅用を除く)は190件です。内訳は50kw未満が168件、50kw以上500kw未満が11件、500kw以上1000kw未満が6件、1000kw以上2000kw未満が5件、2000kw以上はなしとなっております。現在のところ農地・山林への影響や隣地所有者からの相談は受けていない状況です。道

路施設については、直接的な原因ではありませんが、雨天時における雨水の滞水や未舗装道路が洗掘される案件が数件発生しています。今後、パネル設置に伴う諸問題が発生した場合、発電事業者と協議しながら、随時解決に向け適切な対応に努めていきたいと考えています。

問 国の法的規制が無く、町に対する届け出義務が無いため、設置・管理が業者任せになっていないか。私が入手した資料と町長が示した町内設置数に乖離が見られます。実態の把握ができておらず、問題が発生した時に対応していききたいというところで住民の安全は守られますか。視察した茨城県つくば市や山梨県北杜市では条例や指導要綱、ガイドライン等を制定しています。本町でも町に合った指導要綱等の制定が必要では。

生活環境課長 本町も例外ではなく、太陽光発電の設置はここ3年で大きく普及しています。国の法整備が進まない中、環境

保全や景観の関係で、設置する前の届け出を義務づける等、先行事例の市町村、自治体の取り組みも研究し、後追いにならないよう町として最良の方法を協議していききたい。



身近になところにも太陽光パネルが

問 病児・病後児保育の進捗状況

問 病児・病後児保育事業について、町長から他市町との共同

設置の考えが示されていましたが、その後の進捗状況を示してください。

町長 多古中央病院医師との懇談の中で、外に委託して対応するのではなく、病院の一部を活用した方法や協力をお願いしました。病院側からは、考えていますが場所をどうするということではないとのことでした。担当の方で十分状況を考えながらやっていかなければならないと思っています。

町長 多古中央病院は小児科があり、病児・病後児保育に取り組みにも最適な病院です。今後のスケジュールの目安を示してください。



石渡悦子 議員